NIE実践報告

1．タイトル：☆NIE新規校としての取り組み～授業、HR、進路指導での活用～

2．学校名

室蘭大谷高等学校(北海道、私立)

3．実践者名（代表者名）

佐藤　寛子(福岡　ひろみ)

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科・国語表現Ⅰ　選択授業　12人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞の投書に関心を持とう～投書を読み、自分でも書く～

7．目標（狙い）

・日常生活を掘り起こし、自分を取り巻く環境や社会の問題について考える。
・投書するだけでなく、投書を読むことで、様々な世代の人たちの考えを知り、自分の考えに結びつける。

8．評価の視点

・気になった投書を読み、内容をまとめられたか。　・気が付いたことを意見としてまとめることができたか。
・投書に対する自分の意見をきちんと発表できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞に投書しよう　(3時間扱い)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

国語表現Ⅰ
〔展開手順〕
(1)新聞の投書欄を三日分程度読む。
(2)印象に残った投書を一つ選び、プリントに整理する。
(3)自分の選んだ投書の内容と感想を紹介する。
(4)自由に意見を述べ合う。
(5)実際に投書してみる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

普段、道内や地域の新聞しか眼を通さなかった生徒も、全国版の新聞も活用することで道外の地域のニュースを見て、新しい発見があったようである。記事に対する意見を発表すると、さらにそれに対して別の生徒が意見を出し、全体的に活発なやり取りが見られた。

12．成果と課題

生徒の選んだ記事は一つの分野に偏らず、また、中学生から70代の方まで幅広かった。自分の住む町の問題から、国の政策まで社会に対する視野が広がった。
生徒の選んだ記事の例(投書のタイトル・投稿者・掲載新聞)
★国民審査の用紙を配り思った・60代女性・毎日　★「インフル流行」国の対応の違い・中学生男子・毎日
★戦争報道に接し平和を強く願う・30代女性・北海道　★社会のため古切手送り出したい・20代男性・朝日
★公約実現できぬ時どうする?・70代男性・北海道　★茶髪中学生から想定外の親切・30代男性・朝日